

山口大学大学院技術経営研究科 教員公募

募集人員	1名
採用職種	講師
任 期	なし
所 属	山口大学大学院技術経営研究科 産業イノベーション講座
担当科目	イノベーション・マネジメント（日本語及び英語）及び特定課題研究Ⅰ・Ⅱ
応募条件	以下に掲げる条件をすべて満たす者 (1) 博士の学位を有すること (2) 教育及び研究に対して十分な熱意があり、遂行能力を有すること。 (3) 教育及び研究に十分な日本語及び英語能力を有すること。 (4) 博士の学位取得後10年以内の者
勤 務 地	山口大学 常盤キャンパス（山口県宇部市）又は吉田キャンパス（山口県山口市）
勤 務 日	火曜日から土曜日（休日は日曜日、月曜日）
待 遇	給与等雇用条件は、本学の規則による。年俸制を適用する。
着任時期	2025年4月1日
応募締切	2024年11月29日（金）必着
提出書類	(1) 履歴書（別紙指定様式） (2) 研究業績リスト（学術論文、国際会議論文、著書、解説、その他の研究発表、特許、受賞、外部資金等のリスト。共著者名はすべて記入。論文は、査読の有無により分けること。） (3) 主要研究論文別刷5編以内（コピー可） (4) これまでの教育、研究又は業務実績の概要（A4版2,000字以内。教育経験のある場合は、これまでの教育科目とその概要） (5) 着任後の教育及び研究に対する抱負（A4版各1,000字以内） (6) 担当予定科目のシラバス案 (7) 推薦人（応募者について照会可能な方）2名の氏名と連絡先（所属・職名・住所・電話/Fax番号・E-mailアドレスなど） * 書類は紙媒体及びPDF形式の電子媒体（CD-ROM）で提出
選考方法	書類審査による一次選考の後、面接による二次選考を行います。二次選考時の旅費は、自己負担となります。二次選考はオンラインとなることがあります。
書類送付先	〒755-8611 山口県宇部市常盤台2-16-1 山口大学工学部総務企画課技術経営研究科企画係 ※ 封筒には「教員公募（講師）書類在中」と朱書の上、「簡易書留」で郵送してください。 ※ 提出書類については、原則として返却しませんが、返却を希望される場合は、返信用

封筒及び郵送料を同封の上、その旨お知らせください。

問合せ先 〒755-8611 山口県宇部市常盤台2-16-1

山口大学大学院技術経営研究科 研究科長 稲葉 和也

TEL : 0836-85-9065 E-mail: inaba@yamaguchi-u.ac.jp

その他

(1) 山口大学では、男女共同参画を推進しており、「男女雇用機会均等法」第8条の規定により、研究者の女性割合を積極的に改善するための措置として、女性を積極的に採用します。

(2) 過去に学生に対するセクシャルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分若しくは分限処分を受けた場合には、処分の内容及びその具体的な事由を履歴書等に必ず記入願います。

虚偽の記載があった場合には、採用取消や懲戒処分等の対象となることがあります。

(3) 本学では、子育てや介護等によるライフイベントと仕事の両立支援を積極的に行っており、病児保育を利用した際の助成制度、研究補助員制度、メンター制度、研究活動復帰支援制度、介護支援制度などを整備しております。

<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~diversity/>

(4) 応募により提供いただいた個人情報、適正に管理し、本選考及び採用者の任用等の手続きに利用するものであり、この目的以外では利用及び提供することはありません。

山口大学はワークライフバランスを支援しています！

山口大学では、大学の構成員（学生・教員・職員）のダイバーシティ（多様性）を積極的に高め、同時に各自の個性と能力が最大限に発揮できるような労働環境の整備に取り組んでいます。そのために、ダイバーシティ推進室ではジェンダーバランスの促進をはじめ、ワークライフバランスのための様々な取組を進めています。詳しくはホームページでも紹介しておりますので、ご覧ください。

<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~diversity/>

研究についての支援

研究補助員 制度

ライフイベントを抱える本学の研究者を対象に、学部生や大学院生を研究補助員として配置することが可能です。

研究活動 復帰支援制度

ライフイベントによる休業等から復帰後1年以内の本学の研究者を対象に、研究活動にかかる経費の一部を助成します。

女性研究者 メンター制度

学内において、主に新任の女性教員等を対象に、教育・研究上や大学生活上のさまざまな疑問や悩みを相談できる教員（メンター）とのマッチングを行います。

留学生 サポーター 制度

語学力で研究活動のサポートを目的として、英語・中国語・韓国語を母国語とする留学生を紹介し、母国語を用いた研究活動の補助業務のためにサポーターとして配置することができます。

子育てや介護についての支援

学童保育 ヤマミィ学級

小学校の夏・冬・春休みの間、教職員・学生のお子様を預かる学内学童保育「ヤマミィ学級」を運営しています。教員や学生による大学ならではの多彩なプログラムも提供しています。

たんぽぽ保育園 (小串キャンパス)

医学部や附属病院の職員を対象として、安心して働けるよう学内保育園を整備しています。

基本保育90名
病後児保育3名

企業主導型 保育所

地域の企業主導型保育施設（6施設）と利用契約を締結し、保育サービスを利用することができます。

病児保育施設等 利用助成制度

教職員（共済または社会保険加入者かつ配偶者がいる場合には配偶者が就業中の方）のお子様が病児保育施設を利用した場合に、利用料の一部を助成します。事前登録制です。

学内託児 スペース貸出

教職員がお子様の保育のために利用できる託児スペースを学内で貸出しています。保育者は利用者が自費で用意します。保育者については、ダイバーシティ推進室が紹介することもできます。

介護支援

法人契約を締結している支援団体の提供することができます。

【相談】
介護に関するあらゆる相談についてメール・電話・面談にてお受けします。

【代行業務】
離れて暮らす御両親のお世話を専門職が代行し、支援します。

カウンセリング 相談制度

本学の教職員等を対象に、臨床心理士の専任カウンセラー2名体制により、家庭生活を含むあらゆるご相談やリフレッシュに対応します。



検索